

計画の名称	安全で安心な長く親しまれる公園づくり									
計画の期間	平成26年度 ～ 平成28年度 (3年間)					交付対象	南九州市			
計画の目標										
施設の長寿命化については、健全度判定C及びD判定の施設の改築・更新を中心に実施し機能保全と安全性を維持する。また、公園の安全・安心については、トイレのバリアフリー化を中心に実施するが、既に1箇所以上バリアフリー化適合トイレ等のある公園においても、利用者の多い公園についてはバリアフリー化整備を行う。総じて利用者に長く親しまれる安心で安全な人にやさしい公園づくりを目指す。 また、知覧平和公園は平成32年第72回国体のソフトボール会場に決定しており、再整備を進め国体開催に対する市民意識の高揚を図るとともに、市民の健康増進を図る。										
計画の成果目標（定量的指標）										
・市内都市公園における対象施設全体に対する健全度調査によるC及びD判定の施設数割合を17.8%から17.3%にする。 ・市内都市公園において、バリアフリー適合トイレの設置公園の割合を16.7%から33.3%にする。 ・知覧平和公園の陸上競技場、多目的球場の利用件数 401件/年（H25実績）→425件/年（H28）										
定量的指標の定義及び算定式						定量的指標の現況値及び目標値			備考	
健全度調査によるC及びD判定の施設数割合 $= \frac{\text{C・D判定施設数}}{\text{対象施設全体数}}$ トイレのバリアフリー化達成率 $= \frac{\text{トイレのバリアフリー化適合公園数}}{\text{対象公園数}}$ 知覧平和公園の陸上競技場、多目的球場の利用件数を測定する。						当初現況値	中間目標値	最終目標値		
						(H26当初)	(H28末)	(H28末)		
						17.8%	17.3%	17.3%		
						16.7%	33.3%	33.3%		
						401件	－	425件		
全体事業費	合計 (A+B+C)	136 百万円	A	136 百万円	B	0 百万円	C	0 百万円	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C)	0.0%

○事後評価の実施体制、実施時期		
事後評価の実施体制 本市都市計画課にて評価を実施。	事後評価の実施時期	
	事業完了後	
	公表の方法	
	市ホームページにて公表	

A1 基幹事業																
番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考	
									H26	H27	H28	H29	H30			
1-A-1	公園	一般	南九州市	直接	南九州市	南九州市公園施設長寿命化対策支援事業	諏訪運動公園における受変電施設の更新等	南九州市							39	
1-A-2	公園	一般	南九州市	直接	南九州市	南九州市都市公園安全・安心対策緊急総合支援事業	知覧平和公園2箇所におけるトイレのバリアフリー化等	南九州市							84	
1-A-3	公園	一般	南九州市	直接	南九州市	都市公園事業（知覧平和公園）	防球ネット設置工L=120m	南九州市							13	
合計													136			

B 関連社会資本整備事業															
番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考
									H26	H27	H28	H29	H30		
合計															
番号	一体的に実施することにより期待される効果													備考	

C 効果促進事業															
番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名	事業内容	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考
									H26	H27	H28	H29	H30		
合計															
番号	一体的に実施することにより期待される効果													備考	

2 事業効果の発現状況、目標値の達成状況					
I 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況		・長寿化対策により、機能保全と安全性を維持することができた。 ・トイレのバリアフリー化を実施し、利用者に長く親しまれる安心で安全な人にやさしい公園になった。 ・国体開催に向けて防球ネットを整備することで、大規模なソフトボール大会の開催が可能になった。			
II 定量的指標の達成状況	健全度調査によるC及びD判定の施設数割合	最終目標値	17.3%	目標値と実績値に差が出た要因	公園の安全性を高めるため、健全度判定C及びDの施設の改修を前倒して実施した。
		最終実績値	17.2%		
	トイレのバリアフリー化達成率	最終目標値	33.3%	目標値と実績値に差が出た要因	
		最終実績値	33.3%		
	陸上競技場、多目的球場の利用件数	最終目標値	425件	目標値と実績値に差が出た要因	知覧平和公園陸上競技場、多目的球場においては、利用件数が目標値より下回る結果となったが、国体の開催に向けてより規模の大きな大会（県、九州地方、全国大会等）が開催されるようになり、全体利用者数は大きく変わらなかった。
		最終実績値	341件		
III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況 (必要に応じて記述)					

3	特記事項（今後の方針等）
	長寿命化計画に基づき、老朽化している施設の補修・改修及び更新を計画的に実施し、安心で安全な人にやさしい公園を目指す。

(参考様式3)

計画の名称	1 安全で安心な長く親しまれる公園づくり		
計画の期間	平成26年度 ～ 平成28年度（3年間）	交付対象	南九州市

- 公園長寿命化対策支援事業（1-A-1）
- 都市公園安心・安全対策緊急総合支援事業（1-A-2）
- 都市公園事業（知覧平和公園）（1-A-3）

